

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)		授業形式															
		学校マネジメント総合演習 (Integrated Study of School Management)				実践演習科目																	
EU41B301																							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																	
選択必修	2	1	教育学研究科	前期	水1	氏名 熊丸真太郎, 清國祐二, 大島崇, 山本遼, 渡邊英樹, 安田憲司, 久保隆																	
						E-mail kumamaru@oita-u.ac.jp 内線 7550																	
授業の概要	第1～4回では、日本教育経営学会の作成した「校長の専門職基準」をもとにした討議を通し、スクールリーダーに求められる資質・能力に関する理解を深める。																						
	第5・6回では、実務家教員のマネジメントの事例をもとにその特徴を検討することを通して、学校マネジメントの実践に関する理解を深める。																						
	第7～13回では、学校の諸資源に関する講義や討議を通して、学校マネジメントを資源という観点から理解するとともに、新たな学校マネジメントを工夫・デザインする能力を高める。																						
	第14～15回では、学生自身が現任校のマネジメントの特徴を分析し、課題解決の方向性をプレゼンテーションすることを通して、学校の多様な課題に対して課題解決の先導																						
具体的な到達目標												DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	学校マネジメントの実践に関する特徴を説明できる												○		○				○	○			
目標2	学校マネジメントを資源という観点から分析できる														○		○		○	○			
目標3	学校マネジメントにおけるスクールリーダーの資質能力に関する特徴を説明できる												○	○	○					○	○		
目標4	学校マネジメントの視点から各学校の状況を分析し、その特徴を特定できる																○	○	○	○			
目標5																							
目標6																							
目標7																							
目標8																							
目標9																							
目標10																							
授業の内容																							
1	イントロダクション、スクールリーダーの資質能力(1)「校長の専門職基準」基準1の検討																						
2	スクールリーダーの資質能力(2)「校長の専門職基準」基準2・3の検討																						
3	スクールリーダーの資質能力(3)「校長の専門職基準」基準4・5の検討																						
4	スクールリーダーの資質能力(4)「校長の専門職基準」基準6・7の検討																						
5	実践としてのマネジメント(1) ミッション・ビジョン・教育目標																						
6	実践としてのマネジメント(2) 学校経営計画の要件																						
7	学校の資源(1) 人的資源:教員																						
8	学校の資源(2) 人的資源:教員以外の多様な人材																						
9	学校の資源(3) 学校財務・タイムマネジメント																						
10	学校の資源(4) 物的資源																						
11	学校の資源(5) 情報資源																						
12	学校の資源(6) ソーシャル・キャピタル																						
13	学校の資源(7) 時間(働き方改革)																						
14	現任校の資源分析と学校づくりにおける課題研究の方向性の検討(1)																						
15	現任校の資源分析と学校づくりにおける課題研究の方向性の検討(2)																						
ラーニングログ	A:知識の定着・確認	○	時間外学修(宿題),調べ学修(文献,インターネット),プレゼンテーション,ディスカッション(ガイド付き・フリー),事例研究,文章作成(学びの省察)									工夫	その他の										
	B:意見の表現・交換	○																					
	C:応用志向	○																					
	D:知識の活用・創造	○																					
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業資料の読解,疑問点の集約,該当回におけるプレゼンテーションの準備(20h)																					
	事後学修	授業で学習したことを整理し,獲得した知識等の定着を図るとともに獲得した知識等を用い,課題解決の方策を考える(10h)																					
教科書	日本教育経営学会実践推進委員会編『次世代スクールリーダーのための「校長の専門職基準」』花書院、2015年、ISBN9784865610352																						
参考書	佐古秀一・曾余田浩史・武井敦史『学校づくりの組織論。』学文社、2011年、ISBN9784762021480 浜田博文『学校を変える新しい力-教師のエンパワーメントとスクールリーダーシップ』小学館、2012年、ISBN9784098401260																						
成績評価の方法及び評価割合	評価方法											割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)											70%	○	○	○	○							
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)											30%	○	○	○	○							
注意事項	本授業においては、擬似的な学校現場を想定し、院生間の相互作用的なコミュニケーションに基づく学び合いを重視する。とくに、各自のバックグラウンドの違いや経験値の差を積極的に利用し、自分自身のバイアスや固定観念を省察することに努めてほしい。																						
備考																							
リンク																							
	URL																						

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の实務 経験	渡邊（小・中学校，教育委員会事務局）／安田（教育委員会事務局）／久保（中・義務教育学校）／清國（高等学校）
実務経験を いかした教 育内容	小・中学校長及び教育事務所長（渡邊），教育事務所長（安田），義務教育学校長（久保），高等学校教諭（清國）としての実務経験をもとに，学校マネジメント全般に係る指導を行う。